

UIFA ニュース

第 3 号

昭和63年1月26日

◆ 発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

TEL 0774-22-3141 内線 208



あ い さ つ

皆さんあけましておめでとうございます

当協会として、初めての新年を迎えたわけですが、今年も、皆さま方のご協力をいただき、友好親善を一步へ深めてゆきたいと存じますのでよろしく願ひいたします。

昨年は三月二十八日に当協会の発足を以て以来、スリランカ・ヌワエリア市へ、また、中国咸陽市へ友好訪問団を派遣し、さらに八月は青少年空手友好訪中団と、宇治幼稚園友好訪中団の方々が、それぞれ咸陽市を親善訪問されました。一方、中国からは咸陽市の青年団の一行が来庁され多くの市民の皆さんと懇談をもつなど、親善交流が次第に深まってまいりました。今年には京都国体の年ということで、宇治市におかれては、友好都市の両市から親善訪問国をお招きになるご計画のようですので、両市の方々とともに市民レベルでの友好交流を深めると共に、その為の足腰を鍛える意味におきましても、国際感覚の養成、殊に語学の学習などにも力を入れて参りたいと存じます。

近年国際化や、国際都市、また〇〇国際会議といった言葉を日常的に見聞するようになって

会長 谷 岡 武 雄

きました。また、各大学でも留学生の受け入れは勿論であります。国際関係の研究にかかわる学部や学科の創設が積極的に進められている状況であります。

外国との関係からしますと、私たちの文化や価値感に異なりはありますが、お互いの立場を尊

熱烈歓迎にかんげき!!

宇治幼稚園友好訪中団

団長 池 本 檜 秀

宇治市の友好都市である中国咸陽市などを親善訪問するに当り、宇治市と親善協会の後援をいただき、感謝申し上げます。

宇治幼稚園訪中団は八月十八日に出発し、八月二十四日までの六泊七日の日程で、民間サイドで、園児の作品交流と、教師間の親善交流を図り、相互の親善理解を深めることを目的として、咸陽市を訪問し熱烈歓迎を受けました。

そして池本市長の親書を、咸陽市人民政府・副市長、理財局長、教育局長等十数名同席の中張市長に手渡し友好幼稚園の申し入れもしまし

重し、心の通う末長い友好交流が図れるよう着実に歩んでゆきたいと存じます。

私たちが、友好都市のある国々のことをできるだけよく理解するとともに、相手の国々にも私たちのことを十分に理解していただくことが大切であると思います。

おわりになりましたが、皆さま方の今後、ますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

た。又咸陽市の代表的な幼稚園である、彩虹幼稚園を訪問し、園児、職員、父兄より熱烈歓迎を受けました。

同園は園児七四四名、職員九十二名の大きな幼稚園で明るくのびのびとした歌、バイオリン演奏、ダンスなどの歓迎をうけ、最後に我々と一緒にフォークダンスをし、友好幼稚園締結を前にして歩み出しが、できたことに感激いたしました。

これからも許される条件の中で、国際交流を深めてゆきたいと願っています。

チビッ子たちによる友好交流

宇治市青少年空手友好訪中団

団長 加 藤 吉 辰

他四十三名

(小学生十九名・中学生十四名・高校生三名・指導員四名・保護者四名)

宇治市の友好都市である、中国咸陽市などを親善訪問するに当り、宇治市と親善協会の後援をいただき、感謝します。

宇治市青少年空手友好訪問団は八月二十日に出発し、八月二十六日までの五泊六日の旅行をいたしました。

武道交流を通して、友好の輪を広げようと、友好都市の咸陽市を表敬訪問、王宝副市長らに

帰国に際し、張市長から、池本市長宛の返書を手渡されました。

63京都国体への訪問団の歓迎を約す

第二次宇治市民中国咸陽市

友好都市訪問団

団長 石 井 常 夫

他十三名

宇治市と友好都市にある中国咸陽市などを訪問していた第二次宇治市民中国咸陽市友好都市

訪問団は十月十一日に出発し、十月十九日までの八泊九日の旅行を終え帰着いたしました。

中国陝西省咸陽市との友好都市提携一周年を記念し、友好訪問団が結成されました。

訪問当日は、咸陽市人民政府の王副市长、韓副秘書長らの出迎を受け咸陽市内のホテルで宿

泊、翌日に咸陽市へ表敬訪問、張市長はじめ、職員、手拍子の中、熱烈な歓迎を受けました。

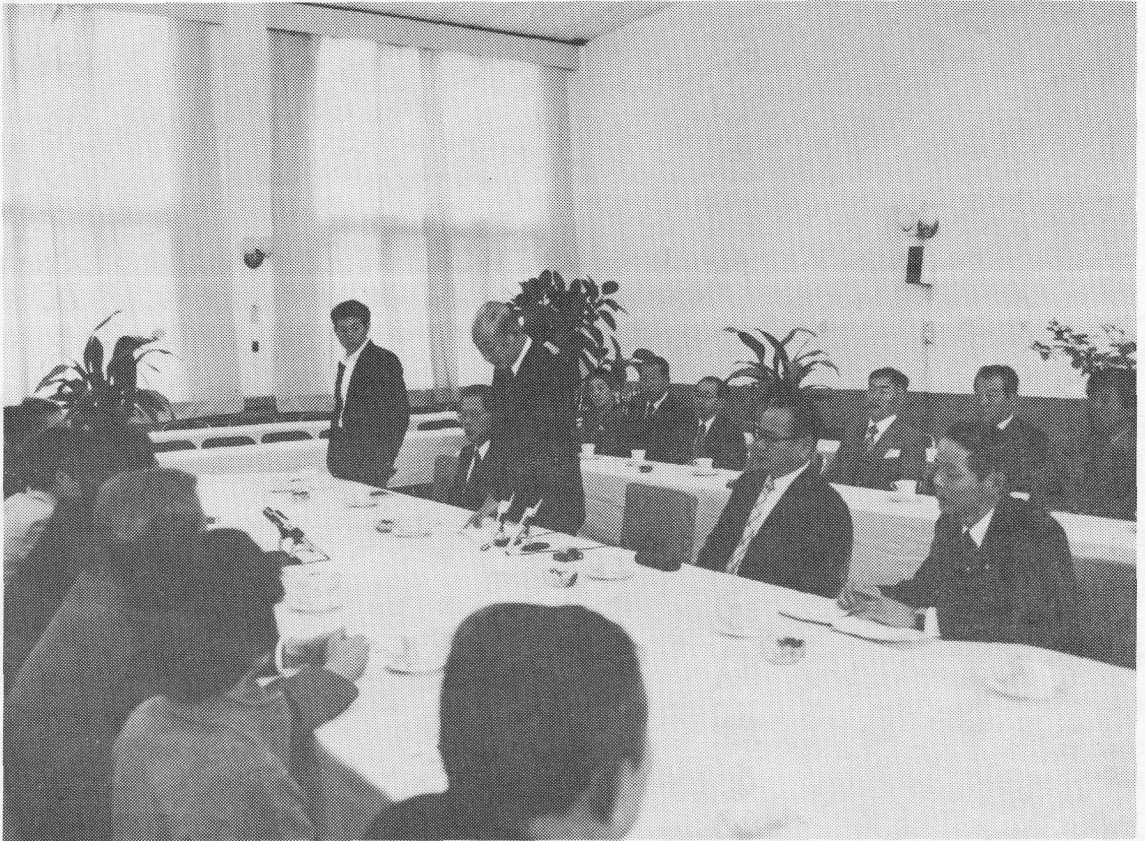
訪問会場において、張市長から、「この一年間池本市長を始め、訪問団と接し、交流ができました。

八月には、宇治市の幼稚園、太極拳(空手)の訪問団とも交流ができましたし、今後は両市間の各分野における交流を進めて行きたい。来年には訪問団を組織して宇治市を訪問したい。そして、青少年、武術、書道の交流も深めて行きたい。又宇治市の工業、商業の方々の操業や調査の訪問についても歓迎したい」旨のあいさつを受けました。

非公式ながら、宇治市での針、灸診療所の開設の意向が示されました。

宇治市から、咸陽市との友好都市提携一周年及び宇治市国際親善協会設立記念と、両市の更なる友好交流を図る等の訪問主旨を申し述べ、又宇治市長から、国民体育大会が開催される、六十三年十月に来宇されることを希望する旨の親書を手渡し、歓迎することを約しました。

そのほか、三室戸小学校育友会より絵画交流として児童の作品四十九点が託され、作品を通じ、宇治市と咸陽市との友好が一層深まり、更に両国人民の平和と友情が末長く持続される



咸陽市親善訪問（62年10月14日）

ことと願っている思いを咸陽市の子供達に通じますよう期待する旨申し上げ、手渡してまいりました。又絵画が宇治市の有名な寺院や、建造物等を写生したものであることの説明をする一方、絵画の友好交流の出発点になるとを期待しています。

スリランカ

民族舞踊団の 来宇について

産業フェア宇治、87「サンフェアうじ」に宇治市の友好都市ヌワラエリヤ市のあるスリランカ国の民族舞踊親善使節団の来宇を受け、多数の市民に友好都市の一端を見ていただくことができました。

使節団の内訳は、男性四人・女性六人計十人で構成されており、二十六日夜に宇治市文化センターの前夜祭と、二十七日昼に市産業会館、宇治商工会館で、スリランカ民族舞踊が披露されました。

二十三日に来日し、世界歴史都市博にも出演し、友好親善に花を添え三十日に帰国された。

